

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <https://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



飛行日誌

懐かしい気持ちを表す言葉として、ノスタルジアという言葉がある。辞書によると、遠く離れた物事や過ぎ去ってしまった物事について懐かしみ、しみじみと思い馳せる心境を指す語、「すでに遠く離れてしまった」「できることなら戻りたい」「しかしそこには戻れない」というような意味合いが多分に含まれるということである。

ノスタルジーとは基本的に、おそらくは誰もが何度も経験する感情の一つである。かつて覚えた歌を聴いたり、お店で何かの香りを嗅いだり、もしくは、旧友とばったり出会ったりすることが引き金になる場合もある。私たちの記憶は、二つの方法で音楽と結び付けられることが多いのだそう、まず、歌はそれ自体が思い出になるが、歌そのものの記憶とともに、その歌を初めて聞いた時のことを思い出す。そして音楽は人生の一期を形成し、その頃の気分を思い出させてくれる。

夏になるとよく、南こうせつ『幼い日に』という歌を思いだし、ノスタルジックになっていた。

石ころだらけのこの道をまっすぐ歩いていくと親せきのおばさんの家
風の足音と蝉の声が遠く夏の空にこだまする

今年も大きなスイカを食べられる 赤色かな黄色かなさあ急こう
去年の夏までは兄ちゃんと来たけれど 一人でここまで来たのははじめて

四十六年前の歌であるが、ノスタルジックなメロデーとともに幼い頃の風景と情感が浮かび上がってくる。私は幼い頃、ビッグ(イグサ)の産地で有名な、うるま市与那城照間で育った。夏の香り、青々としげったビッグの穂が、集落と海岸の間の田んぼいっぱいには広がっていた風景があった。約三キロあった小学校までの道のりは、夏空とともに、サトウキビと野菜畑に囲まれた、石ころだらけの一本道であった。学校の帰り道は、サトウキビや野菜畑からは大根を掘り出し、生のまま食べ、とてもおいしかったことを思い出す。金武湾に面している海岸では、自由に泳ぎ、貝を掘り、砂浜で空缶に火を焚き食べていた。こういつたことが日常であった。誰しもが持っている田舎の風景である。幼い日は遠く、気が付けば半世紀が経ってしまった。

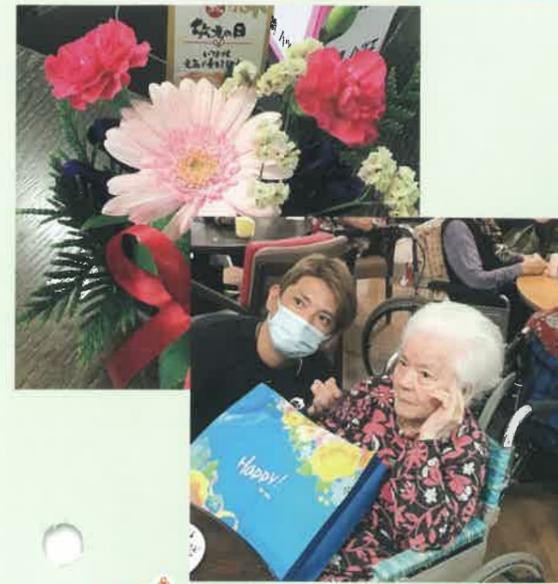
感染拡大に見舞われた沖縄の夏、ノスタルジアに浸る間もなく、今年も夏は終わった。

今年もみな同じように生活スタイルを変えざる得ない生活を強いられた。夏の行事もないまま年を重ねていくと、どこかむなしさが残る。来年こそはと思いを馳せ、去年も飛行日誌に書いたが、以前のような生活を送れる日が早く戻ってくるのを願うばかりである。

(介護老人福祉施設緑樹苑 施設長 兼城正彦)



ケアハウスはいびすかす  **合同生年祝 & 敬老会** 



9月16日(木)、ケアハウスはいびすかすでは、『合同生年祝・敬老会』が催された。去年に引き続き、はいびすかすのみでの開催となったが、今年も厨房職員による趣向を凝らした祝い膳弁当や職員による「かぎやで風」などが披露され、盛大な会となった。



知花トミさん(新百歳)



上間妙子さん
(生年祝)



仲宗根トミ子さん
(生年祝)



大城秀雄さん
(とーかち)



介護老人福祉施設(特養)緑樹苑の普段の様子

介護老人福祉施設緑樹苑では新型コロナウイルス感染予防のため、しばらく大きな行事は開催できていませんが、日々の生活の中で少しでも楽しんで過ごしてもらえるよう支援に努めています。今回は皆さまの普段の様子を紹介します。



緑樹苑デイサービスセンター 敬老会



緑樹苑デイサービスセンターでは、9月20日(月)の敬老会の日、敬老会が行われた。司会のあいさつの後、職員による『かぎやで風』で幕を開けた。今年、お祝いの節目を迎える方、カジマヤー一名、トーカー三名、トゥンビー4名の利用者の皆さんを紹介すると、照れながらも笑顔で応えてくれた。余興では、みどり学童クラブの児童たちから、お祝いのメッセージ動画が大型スクリーンを通して届けられ、利用者の皆さんは「涙が出そうさ」「可愛いわね」などと目を細めていた。コロナ過にあつて直接の交流ができない中、工夫を凝らした演出に皆さん楽しまれている様子が伺えた。



続いてのスライドショーで利用者の皆さんの写真が紹介されると「私が写ってるさー」恥ずかしい「照れた様子ながらも笑顔を見せていた。最後にはカチャーシーで幕を閉じ、笑顔あふれる敬老会となった。
(知念綾乃)



みどり学童クラブ うーまー通信



新型コロナに負けずにがんばってます！



コロナ禍の中で、みどり学童クラブも感染拡大防止に向けて対策を取りながら運営しております。アクリル板を使ったの宿題、昼食はテーブルに1人で距離を取りながら黙食。換気を行いながらの室内活動、マスクの徹底など、子ども達と協力しながら夏休みを過ごしました。またテーブルや使用したのものもその都度消毒し、床や階段などもモップを使い毎日消毒するなど、指導員一丸となって感染防止につとめています。

子ども達にとっても負担がかかっている事と思いますが、出来る事を見つけて自分達で工夫しながら遊んでくれています。中には新聞を読む子も出てきました！

これからも子ども達の居場所を守るために、徹底した防止対策を行っていきたく思います。

野菜収穫・調理 (緑樹苑デイサービスセンター)



9月4日(土)に緑樹苑デイサービスセンターでは、敷地内の畑で育てた野菜の収穫祭と調理を行った。土作りから始まり、毎日色んな利用者さんが耕し、苗の植え替えを行い、水やりをしたり。暑い日も雨の日も毎日、野菜達を気にかけていたがやっと収穫できる日が来た。利用者と職員で作成した横断幕も掲げ、大きく育ったきゅうりを6本収穫した。

午後からはホール内で調理を行った。ピーラーで皮むきする係、切る係、塩もみする係など役割を決め、利用者も職員全員で協力して酢の物とかつお節和えを作った。

普段は控えめな方も、包丁を手に「もつと切るから持つておいで」と積極的に取り組んでいた。

利用者からは「自分で採ったきゅうりは美味しいね」と笑顔で召し上がっていた。

その後の片付けや食器洗いまで利用者の皆さんで行い、笑顔の絶えない調理となった。(津嘉山聖羅)



10月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(金)			スカッシュボール		
2(土)			手工芸		
3(日)					
4(月)			民舞		
5(火)			ミニドライブ		
6(水)		ミニシアター	映写会		
7(木)		手作りおやつ会	脳トレ		
8(金)			スカッシュボール	手作りおやつ会	
9(土)			手工芸		
10(日)					
11(月)		書道クラブ	ていんさくぬ花運動会		学童休園日
12(火)		三板クラブ	歌会	デイサービス運動会	
13(水)		防災訓練	映写会	防災訓練	
14(木)	特養緑樹苑運動会	手作りおやつ会	ボウリング		
15(金)		はいびすかす運動会	スカッシュボール		
16(土)			手工芸		
17(日)					
18(月)			民舞		
19(火)			防災訓練		
20(水)		ミニシアター	映写会		
21(木)		手作りおやつ会	散髪・脳トレ		
22(金)	利用者健康診断	誕生会	スカッシュボール	誕生会	
23(土)			手工芸		
24(日)					
25(月)		書道クラブ	利用者健康診断		
26(火)		三板クラブ	スカイガーデン		
27(水)		防災訓練	映写会	カフェタイム	
28(木)			ボウリング	防災訓練	
29(金)	誕生会		スカッシュボール		
30(土)			ハロウィン交流会		
31(日)					

感謝録

(令和三年八月一日～八月三十一日)

〈物品の部〉

喜屋武 一夫 様
伊藤 善子 様温かい御支援、御協力下さいました
方々に、厚く御礼申し上げます。

編集後記

9月20日以降、県内の新型コロナウイルスの一日あたりの新規感染者数が二桁台まで減ってきました。これまで何度も盛衰を繰り返してきましたが、やはりワクチンの効果でしょうか、ここに来てようやく収束への兆しが見えてきたように感じます。

もしばらくは油断できませんが、外出や面会制限の解除も、そう遠くないところまできていると思います。

施設入居者の皆さまやそのご家族の皆さまにおかれましては、面会が再開される日を心待ちにしていることと存じます。施設においても職員が一丸となって入居者の皆さまの安全と安心を保つため、感染防止に取り組んでいます。今しばらくご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

制限が解除され、面会の再開を祈りながら、その様子を竹とんぼに掲載できる日を心待ちにしています。
(砂川智規)

緑樹会のホームページから
竹とんぼをご覧いただけます。または
インターネット検索で

緑樹会 竹とんぼ

Q検索

